

ごみのゆくえを「夏休み処分場見学会」参加者募集!

自分たちが出したごみがどのように処理されているのか、学んでみませんか? いよいよ完成したエコセメント化施設も見学できます。ぜひご応募ください。

<日時・行程>
第1回 平成18年8月9日(水)
 8:30 京王線府中駅集合 日野市クリーンセンター
 昼食(ひので肝葉の里) ニッ塚処分場 谷戸沢処分場
 16:30 京王線府中駅解散
 (集合・解散場所 旧甲州街道大國魂神社前)
第2回 平成18年8月21日(月)
 9:00 JR立川駅北口集合 立川市清掃工場 昼食
 (ひので肝葉の里) ニッ塚処分場 谷戸沢処分場
 16:30 立川駅解散
 (集合・解散場所 立川通り曙町2交差点付近)

<参加資格>
親子参加 多摩地域在住の小学校4、5、6年生と保護者(18歳以上)の2人1組
一般参加 多摩地域在住者、または在勤・在学者(中学生以上)で、個人または2人1組

<参加費> 1人500円(昼食代)当日お支払いください
 (親子で参加の場合は1000円の負担となります)

<募集人員> 各回とも80名
<締め切り> 各回とも7月19日(水)到着分

<申し込み方法>
 往復はがきに「見学会参加希望」と明記の上、氏名、年齢(学年) 住所、電話番号、希望日を記入し、お送りください。
 注1) ~ は参加者全員についてお書きください。
 注2) 多摩地域にお住まいでない方は、通勤・通学先もご記入ください。
 応募者多数の場合は、抽選により決定。結果は返信はがきにて連絡。

<申し込み・問い合わせ先>
 〒183-0052 東京都府中市新町2-77-1 東京自治会館内
 東京たま広域資源循環組合「見学会」係

日の出だより NO.30

「第7回 ひまわりまつり」を開催

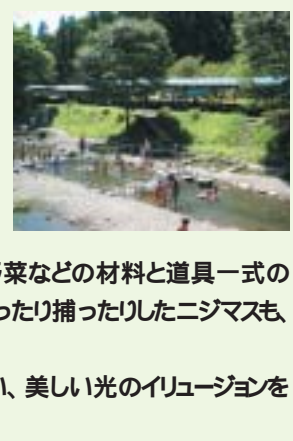
日の出町では、毎年好評の「ひまわりまつり」を8月5日土に開催する予定です。
 「みんなでつくる大きな花壇」をキャッチフレーズに参加者を募り、種まきや草取りなどの管理も町民で行い、大きな花を咲かせようと大切に育てています。近くには清流・平井川も流れ、真夏の太陽がキラキラ輝く頃、ひまわりが満開を迎えます。
 おまつりでは、焼きそば、だんご、焼きトウモロコシ、かき氷などの飲食模擬店の他、こども竹細工教室、マスのつかみどり、ひまわりの切花のプレゼントなどを企画。たくさんの方々のご来場をお待ちしています。



日時/平成18年8月5日(土)予定 会場/日の出町役場庁舎南側
 お問い合わせ先/日の出町役場経済課商工課係 TEL.042-597-0511(内線・241)

水辺でアウトドアを満喫!

日の出町の「自然休養村さかな園」は、家族で楽しめる人気スポットです。
 川では溪流釣りができるほか、流れを一部せき止めてニジマスを放流。人気のつかみ捕りでは、魚の素早い動きに子ども大人も大はしゃぎ! 川で思いきり遊んだ後は、バーベキューを。肉や野菜などの材料と道具一式のセットがあるので、手ぶらでも気軽に楽しめます。釣ったり捕ったりしたニジマスも、その場で焼いて食べられます。
 また、6月下旬~7月上旬頃にはホテルが飛び交い、美しい光のイリュージョンをお楽しみいただけます。



お問い合わせ先/自然休養村さかな園
 東京都西多摩郡日の出町大字大野3882 TEL.042-597-4911 営業時間/9時~16時(火曜定休)

本年4月に組合名称がかわりました

エコセメント化施設稼動にともない、本組合は本年4月1日より「東京たま広域資源循環組合」と名称を変更しました。
シンボルマークを発表
 シンボルマークは、多摩地域の自然(緑色)とごみ(紫色)のサイクルとエコセメント事業(青色)を、「たま」の英字「T」で表現しました。
 エコセメント事業という新しいシステムにより、物質循環をより加速させていく組合事業の新しい取り組みを表しています。

ホームページをご覧ください
<http://www.tama-junkankumiai.com>

循環組合では、処分場の敷地内や周辺の土壌、水質など環境調査の結果をホームページで公表しています。ぜひアクセスしてみてください。

たくさんのご応募ありがとうございました 本紙ニュース名が決定!

組合ニュースの新しい名称を募集したところ、応募総数116通という、たいへん多くのおみなさまからご応募をいただきました。どうもありがとうございました。
 厳正なる審査の結果、新しいニュース名は5名の方からご応募いただいた『たまエコニュース』に決定しました。この名称をご応募いただいた5名の方には、賞状と記念品をお贈りします。新名称になった『たまエコニュース』を、どうぞよろしくお願い致します。
 発表は賞状と記念品の発送をもってかえさせていただきます。

発行・問い合わせ先
 TEL:042-385-5947 FAX:042-384-8449
 『たまエコニュース』の内容やごみ処理に関するお考えなど、みなさまのご意見を、お手紙、FAX、電子メールでお聞かせください。
 〒183-0052 東京都府中市新町2-77-1 東京自治会館内
 東京たま広域資源循環組合「たまエコニュース」係
 [メールアドレス] sjkumiai@tama-junkankumiai.com

多摩400万人のごみ情報紙

年4回発行:平成18年7月 VOL.38
 July 2006

2006年7月から「処分組合ニュース」が「たまエコニュース」になりました。

たまエコニュース

発行:東京たま広域資源循環組合

[事務局] 〒183-0052 東京都府中市新町2-77-1 東京自治会館内 TEL:042-385-5947 FAX:042-384-8449
 ホームページ <http://www.tama-junkankumiai.com> メールアドレス sjkumiai@tama-junkankumiai.com

循環組合組織団体

八王子市	昭島市	東村山市	清瀬市	西東京市
立川市	調布市	国分寺市	東久留米市	瑞穂町
武蔵野市	町田市	国立市	武蔵村山市	
三鷹市	小金井市	福生市	多摩市	
青梅市	小平市	稲城市	稲城市	
府中市	日野市	東大和市	羽村市	

循環組合は組織団体からの負担金で運営されています

「循環組合」とは...?
 ニッ塚処分場・谷戸沢処分場(日の出町)を管理・運営している特別地方公共団体で、多摩地域25市1町の約400万人の可燃ごみ焼却灰や不燃ごみを、日の出町のみなさまの協力を得ながらエコセメントとしてリサイクルし、資源として活用、また埋立処分をしています。みなさまと共にごみ問題の解決に取り組んでいます。

主な記事
 【1面】エコセメント化施設完成!!
 【2・3面】「エコセメント事業」が、いよいよ本格スタート!!
 【4面】日の出だより、循環組合の動き、組合議会だより など

エコセメント化施設完成!!

東京たま広域資源循環組合では、可燃ごみの焼却灰を主原料にしてセメントを作る「エコセメント事業」に取り組んでいます。平成11年に事業の計画に着手し、平成16年から施設の建設工事をスタート、環境と安全に十分な配慮をしながら工事を進め、今春、計画通りに「東京たまエコセメント化施設」が完成しました。

施設完成を記念し、落成式典を挙行了しました

去る平成18年5月11日、日の出町ニッ塚廃棄物広域処分場内にて「東京たまエコセメント化施設落成記念式典」が行われました。
 当日は、東京都副知事の横山洋吉氏、日の出町長の青木國太郎氏ほか国会議員や都議会議員、自治会をはじめとした日の出町の住民など、多くの方々のご列席くださり、盛大な式となりました。式典に先立ち、日の出町の郷土芸能「玉の内獅子舞」が披露されました。
 式典では、まず組合の新たな名称およびシンボルマークを発表、その後、

東京たま広域資源循環組合の石川良一管理者(稲城市長)がエコセメント事業の意義や関係各省庁、関係団体、日の出町や多摩地域住民への感謝等を述べました。次に、エコセメント事業に関するビデオ映像を上映、エコセメントがJIS規格にも定められた安全な土木建築資材であり、製造工程でも十分な安全対策がとられていることなどが紹介されました。
 その後、横山副知事、日の出町長ほか、来賓各位の祝辞をいただき、環境大臣からも祝辞をいただきました。つづいて日頃から循環組合の事業運営にご理解・ご協力をいただいている日の出町の方々に感謝し、石川管理者から地元自治会へと感謝状が渡されました。最後に、施設の落成を祝い、石川管理者や横山副知事らによるテープカットとくす玉割り



東京たまエコセメント化施設落成記念式典でのテープカットの様子。

7月1日に「たまエコセメント」が初出荷

エコセメント化施設が本格的に稼働開始し、7月1日には製造されたエコセメントが初出荷されました。
 施設で生産されるエコセメントは「たまエコセメント」のブランドとして出荷され、各自治体での利用が見込まれています。建築資材や道路整備等に幅広く使われていく予定です。



エコセメントを初出荷するトラック。



祝辞を述べられる横山東京都副知事(左)と青木日の出町長(右)

全国を先導する「多摩環境新時代」の幕明け

●石川良一 管理者(稲城市長)の挨拶より

全国の自治体として初めての試みであるエコセメント事業は、最も先進的な取り組みであり、循環型社会を目指すものです。すでに、日本でもトップレベルにある多摩地域のリサイクルをさらに進め、日の出町が全国を先導する、環境先進地域として確固とした地位を築くものであり、多摩環境新時代の幕開けにふさわしいものと確信しています。

本施設では環境に配慮した優れた技術が導入されており、エコセメントの製造工程で発生する排ガスや重金属などは適正に処理するなど、法律で定められた基準よりも厳しい自己規制値を遵守しています。日の出町のみなさまには、谷戸沢、ニッ塚両処分場の運営、さらにエコセメント化施設の建設にあたり、ご理解ご協力をいただき、改めて深く感謝申し上げます。



挨拶を述べる石川管理者。



エコセメント特集② わたしたちの住む多摩地域が進めている「エコセメント事業」が、いよいよ本格スタート!!



資源循環型社会を推進するリサイクルの新しい形、「エコセメント」は安全に留意して作られます。その製造工程を説明します。

エコセメント特集②は、2006年3月26日に発行された「処分組合ニュース VOL.37」に掲載されています。ご覧になりたい方は、http://www.tama-junkankumiai.com/public/union/details/vol_37/vol_37.pdfへアクセスをどうぞ。

エコセメント事業の目的

多摩地域のリサイクルをさらに進め、限りある処分場を有効利用します

循環組合では資源循環型社会の実現を目指し、以下3つの目的を推進するためにエコセメント事業に取り組んでいます。

二ツ塚処分場を長く有効に活用する多摩地域のリサイクルをさらに進める安全な埋立対策をさらに推進する

エコセメントは、可燃ごみの焼却灰を主原料にしてつくった新しいタイプのセメントです。現在、埋立処分されるごみの約8割が可燃ごみ焼却灰です。これをエコセメントの原料として利用することで、処分場の使用期間を大幅に延長することができます。

また、これまで埋め立てるしかなかった焼却灰がエコセメントとして道路や建物などに生まれかわることで、新たな物質循環のモデルが構築されます。リサイクル先進地域である多摩のリサイクルを、さらに進めることができます。



エコセメントQ&A

- Q1 エコセメントは安全ですか?**
A エコセメントは日本工業規格(JIS)に規定されており、製造過程や製品として利用する際にも、その品質及び安全性が確認されています。
- Q2 エコセメントはどこに使われますか?**
A 日本工業規格(JIS)に規定されており、普通セメントと同等に土木建築資材として使えます。構成団体の市町では、公共事業等でエコセメントを積極的に使用していく予定です。
- Q3 エコセメント事業が始まれば、もつごみを減量する必要はないのでは?**
A いいえ、可燃ごみの焼却灰はエコセメントになりますが、可燃ごみなどの埋め立てるごみが発生する限り、二ツ塚処分場はいつか満杯になってしまいます。限られた処分場を1日でも長く使用するため、一層のごみの減量やリサイクルが必要です。

エコセメントの製造工程と安全性について

安全の確保や環境の保護に万全の配慮をして、エコセメントは作られます

1 焼却灰の受け入れ

焼却灰は建物内で受け入れ、粉じんの飛散を防止

可燃ごみの焼却灰はトラックでエコセメント化施設内の受入ピットまで運ばれます。焼却灰の受け入れは、建物内で行い粉じんの飛散を防止します。また、受入ピットの空気を吸引し、集塵脱臭処理を施すため、施設外に悪臭などがもれることはありません。

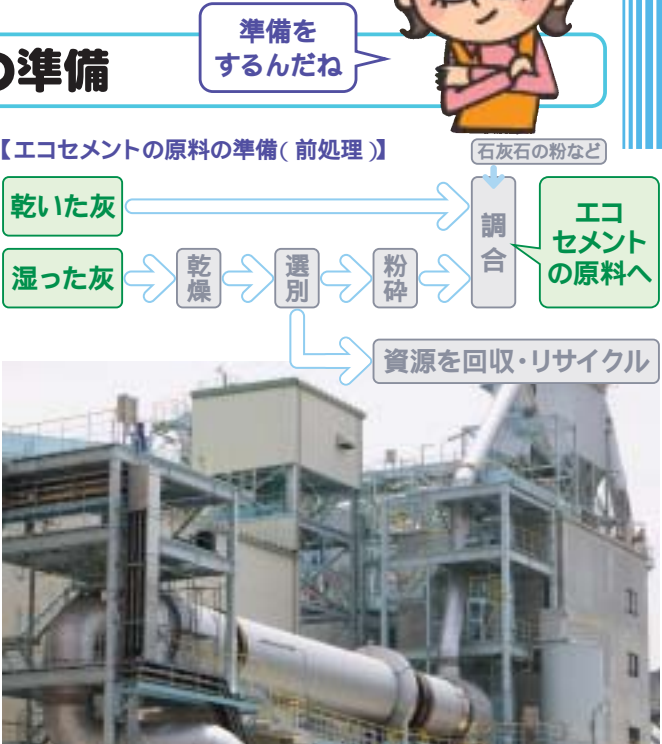


焼却灰の受け入れ作業は、屋内で行われます。

2 エコセメント原料の準備

リサイクル可能なものを選別、原料として整えます

持ち込まれる灰は、乾いた灰と湿った灰の2種類があります。湿った灰は乾燥、破碎をし、灰の中に混ざっている鉄やアルミニウム類を選別、回収します。回収された鉄・アルミニウム類は資源としてリサイクルされます。その後、原料粉砕機で原料として最適な大きさに粉砕され、粉砕後の灰は石灰石と鉄原料を調合してエコセメントの原料となります。乾いて持ち込まれる灰は、そのまま調合工程に進みます。



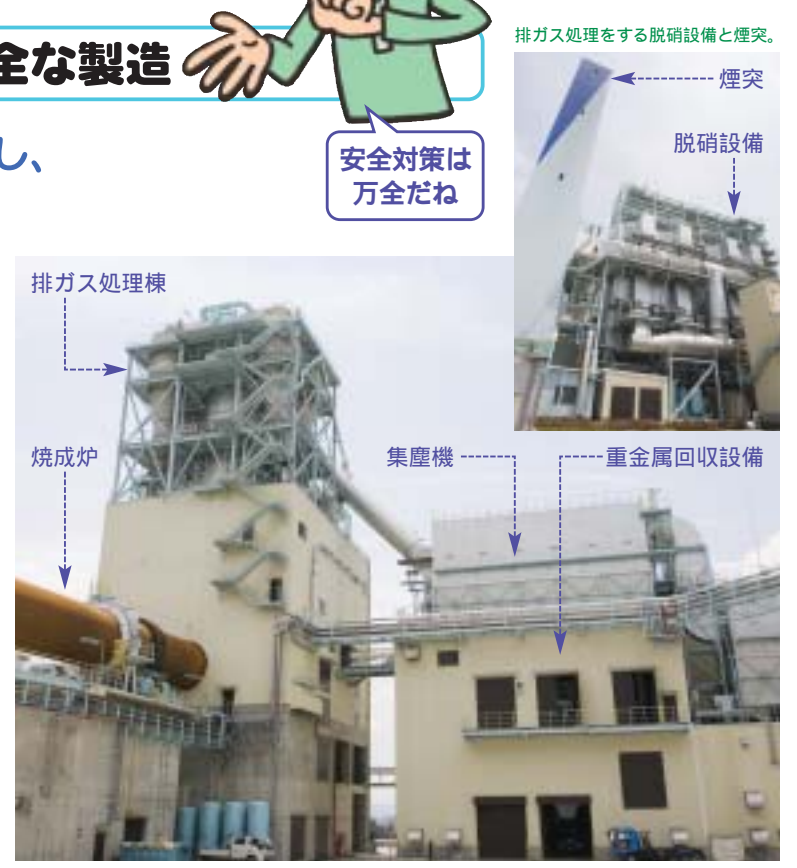
焼却灰をエコセメントの原料にするために乾燥、破碎、選別を行う前処理設備。

3 エコセメントの安全な製造

1350℃以上の温度で焼成し、ダイオキシン類を無害化

エコセメントの原料を円筒形の焼成炉(ロータリーキルン)の中で1350℃以上の温度で焼成すると、クリンカ(セメントのもととなる固まり)ができます。焼却灰に含まれるダイオキシン類は、1350℃以上の高温で焼かれることで分解、無害化され、また焼成の際に発生する排ガスは排ガス処理棟で急速に冷却し、ダイオキシン類の再合成を防止します。

前処理での乾燥、粉砕作業や焼成の工程で発生する排ガスは、集塵機・バグフィルタを通してばいじん類を除去した後、脱硝設備できれいにしてから煙突で排出されます。また、ばいじんに含まれる重金属類は回収設備で処理、回収され、精錬所に運ばれて再資源化されます。



左の施設が焼成を行うロータリーキルンと排ガス処理棟。冷却された排ガスはダクトを通して右の施設へと移り、バグフィルタを通して重金属類が回収されます。

4 完成と製品の利用

エコセメントは生活の中で幅広く活躍

できあがったクリンカに石膏などを加え、細かく粉砕するとエコセメントが完成します。エコセメント化施設が本格的に稼働を始めると、1日平均300トンの焼却灰を処理し、約430トンのエコセメントが生産される予定です。普通セメントと同じ性質を持つエコセメントは、道路整備や建物の建設など、私たちの生活の中で幅広く利用されていきます。



25市1町が力を合わせてエコセメント事業に取り組んでいます



循環組合を構成している25市1町では、環境先進地域・多摩の物質循環をさらに推進し、これからも環境に配慮した処分場の管理運営に取り組んでいきます。

東京たま広域資源循環組合の構成団体の市・町長

- | | | | | | | | | | | | | |
|--------------------|-------------------|--------------------|-------------------|---------------------|-------------------|---------------------|----------------------|-------------------|--------------------|-------------------|--------------------|---------------------|
|
八王子市長
黒須 隆一 |
立川市長
青木 久 |
武蔵野市長
邑上 守正 |
三鷹市長
清原 慶子 |
青梅市長
竹内 俊夫 |
府中市長
野口 忠直 |
昭島市長
北川 穰一 |
調布市長
長友 貴樹 |
町田市長
石阪 丈一 |
小金井市長
稲葉 孝彦 |
小平市長
小林 正則 |
日野市長
馬場 弘融 |
東村山市長
細淵 一男 |
|
国分寺市長
星野 信夫 |
国立市長
上原 公子 |
福生市長
野澤 久人 |
狛江市長
矢野 裕 |
東大和市市長
尾又 正則 |
清瀬市長
星野 繁 |
東久留米市長
野崎 重弥 |
武蔵村山市市長
荒井 三男 |
多摩市長
渡辺 幸子 |
稲城市市長
石川 良一 |
羽村市長
並木 心 |
西東京市長
坂口 光治 |
瑞穂町長
石塚 幸右衛門 |